

令和3年度看護職員定着促進支援事業(案) (再構築)

事業の概要

【目的】 各病院が実施する看護師等確保の取組を就業協力員が支援するとともに、院内及び地域（同一医療圏等）の500床未満の医療機関に対する研修会を実施することで、医療機関間で地域のネットワークを構築しながら各医療機関における勤務・業務改善等を実施し、看護職員の定着を促進する。

【実施方法】 東京都看護協会（東京都ナースプラザ）への委託

事業内容

看護師等就業協力員が都内病院を巡回訪問し、勤務環境改善や研修体制構築に向けた施設の取組に対して助言・相談等を実施する。

【支援対象】 都内中小（200床未満）病院（※平成30年度～令和2年度の本事業支援病院は対象外）

【支援規模】 年間26施設

【支援内容】 看護職員の確保・定着に資する対象施設における個別具体的な課題

【例】 ・職員の教育体制 ・業務改善 ・職員募集・広報 ・働きやすい職場づくりなど

【支援の流れ】 4月～6月

7月～12月

1月～3月

支援開始

計画

実践

評価・分析

《支援病院》

支援

《就業協力員》



看護管理者

【看護部】



看護部 中心メンバー
(師長・主任)
3～4名

看護スタッフ・
看護補助者

課題の明確化
↓
計画作成
↓
取組実践

院内での取組実績（看護部コアメンバー → 看護部全体 → 院内全体）

院内・地域の医療機関を含めた研修(WG含む)を実施

地域の医療機関へも効果を普及

※研修には外部講師を招致
アカデミックな視点で課題・解決策を多角的
に学ぶ → 汎用性の高い研修内容となる

- 看護職員間における課題・解決策のより一層の認知・普及
- 院内全体における環境改善の意識向上・実践促進
- 各医療機関において、学習効果を持ち帰り、共通課題の解決促進
- 病院間でのネットワーク形成・情報共有により、改善等が効果的に進む

《院内》



医師/ 看護職員/
看護補助者/事務部門/
他専門職種

《他医療機関》



看護職員

取組の評価・分析

改善策等の取組
の継続・次年度の
課題の明確化

↓
次年度に向けた
新たな取組の検討

初回訪問⇒ 情報収集・支援内容検討

定期的に連絡（月1回訪問）⇒ 取組みの進行管理・フォロー・他医療機関含む研修実施のサポート

評価分析支援